

令和2年度

事業報告

令和3年7月

一般財団法人 東海産業技術振興財団

事業報告

令和2年4月 1日から

令和3年3月31日まで

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、これまでの経済活動や社会生活の常識が一変しました。わが国においては、経済が大きなダメージを受けるとともに、デジタル化の遅れ、東京一極集中による過密なリスクなど、さまざまな課題が浮き彫りとなりました。

また、世界情勢に目を向けましても、激化する米中対立、東アジア・中東地域の地政学上のリスクの高まりなど不確実性は年々高まっています。

このコロナ禍によるダメージからの回復に努めるには、あらゆる面で従来型の仕組みを壊し、創造する思い切った行動が必要です。

このような状況ですが、当財団は、産学官が緊密に連携した産業技術に関する研究助成や若い研究者への支援を着実にを行うことで、東海圏のさらなる産業振興と活力ある創造性豊かな地域経済の実現を目指しております。私どもの財団が、地域産業の活性化や新たな産業の創出に少しでも貢献していければと考えております。

以下に今年度の事業について報告いたします。

I 事業の概要

1. 研究助成事業

令和2年度（第33回研究助成）においては、次の内容で募集を行いました。

(1) 産学官共同研究を対象とする『一般発展型』

次の6分野について募集を行いました。

- ・ 環境関連分野
- ・ 医療福祉技術関連分野
- ・ 材料関連分野
- ・ 電子・情報関連分野
- ・ 生産技術関連分野
- ・ バイオテクノロジー関連分野

(2) 40歳以下の若手研究者を対象とする『研究育成型』

次の3分野（工学を基礎とした）について募集を行いました。

- ・ グリーンイノベーション（環境・資源・エネルギー・食料生産革新等）
- ・ ライフイノベーション（医療福祉・介護・健康・情報通信技術活用等）
- ・ 情報イノベーション（AI・IoT等）

(3) 募集期間、応募総数、助成件数等

① 募集期間 令和2年10月1日から11月30日

② 応募総数 52件

・ 一般発展型 27件

・ 研究育成型 25件

③ 助成件数 15件

・ 一般発展型 5件

・ 研究育成型 10件

④ 採用助成総金額 1,923万円

⑤ 決定通知伝達式 新型コロナウイルスの影響にて中止
(令和3年4月6日を予定)

2. 産業技術に関する普及啓発事業

令和2年7月に機関誌「TFTニュース」NO. 63をHP上に掲載しました。この機関誌は、研究助成を完了した報告書等を同HPで公表し、技術等の情報公開・普及啓発に努めています。

3. セミナー事業（産学官交流事業）

東三河ビジネスプランコンテストについて協賛しました。

- ① 主催 株式会社サイエンス・クリエイト（東三河ビジネスプランコンテスト）
- ② 日時 令和3年2月25日 豊橋サイエンスコア・ホール

II 理事会・評議員会・選考委員会

1. 理事会

- ① 第66回理事会 新型コロナウイルスの影響により「書面決議」
- ② 第67回理事会 令和3年 3月 3日

2. 評議員会

- ① 第66回評議員会 令和2年 6月11日
- ② 第67回評議員会 令和3年 3月18日

3. 選考委員会

- ① 令和2年度第1回幹事会 令和2年12月18日
- ② 令和2年度第2回幹事会 令和3年 1月 7日
- ③ 第39回選考委員会 新型コロナウイルスの影響により「書面決議」
(令和3年2月8日を予定)